

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">コンピュータ技術基礎Ⅱ (実習ビデオ活用授業)</p>	<p>対象学科・学年 教育教福1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">大倉 孝昭</p>
<p>授業テーマ 先輩の教育実習ビデオを閲覧して、模擬授業を行う (現代GP 学生実践)</p>		
<p>授業の概要と目標 先輩が教育実習・保育実習・施設実習で蓄積した実習ビデオを閲覧し、評価学習、模倣、プレゼンテーション (模擬授業) を行う。伝達すべき内容を明確に過不足なく確実に伝えられるようになることを目標とする。</p>		
<p>評価方法 同時同期式評価システムを利用して、相互評価を行う。この授業を通して、①聴衆の目を見ながら ②PC (PowerPoint) を使い ③自分の伝えたい内容を ④聴衆の60%以上が「なるほど」と納得できるように伝えられることが“優”の条件である。</p>		
<p>テキスト 予定していない</p>	<p>テキスト 予定していない</p>	<p>テキスト 予定していない</p>
<p>参考書 予定していない</p>	<p>参考書 予定していない</p>	<p>参考書 予定していない</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PowerPoint を利用して自己紹介をする。他人に自分を印象付けられるような工夫を行う。 2. 先輩の実習ビデオを閲覧し、まねをすべきところ、改善した方がよいところを話し合う (1) 3. 先輩の実習ビデオを閲覧し、まねをすべきところ、改善した方がよいところを話し合う (2) 4. CaptionMaster を用いて、自分の評価と専門家の評価を比較しながら学ぶ (1) 5. CaptionMaster を用いて、自分の評価と専門家の評価を比較しながら学ぶ (2) 6. 先輩の授業をまねて、授業を設計する“指導案作成システム”により、指導案を作成してみる (1) 7. 先輩の授業をまねて、授業を設計する“指導案作成システム”により、指導案を作成してみる (2) 8. 授業キャプチャを行いながら、模擬授業を実施、その場で評価する (1) 9. 授業キャプチャを行いながら、模擬授業を実施、その場で評価する (2) -----第2順では前回のプレゼンを反省し、意識的にどこを改善したかを明示する----- 10. Caption Master を用いて、映画のスク립トにタイムコードを付与する (1) 11. Caption Master を用いて、映画のスク립トにタイムコードを付与する (2) 12. 先輩の実習ビデオを閲覧し、まねをすべきところ、改善した方がよいところをプレゼンテーションで指摘する (1) 13. 先輩の実習ビデオを閲覧し、まねをすべきところ、改善した方がよいところをプレゼンテーションで指摘する (2) 14. CaptionMaster を用いて、自分の評価と専門家の評価を比較しながら学ぶ 15. 先輩の授業をまねて、授業を設計する“指導案作成システム”により、指導案を作成する 16. 授業キャプチャを行いながら、模擬授業を実施、その場で評価する <p>★エクセルをベースにしたツールを利用するので、エクセルの基本操作に習熟しておくこと。 ファイルの読み込み、保存、セルへのデータ入力、セル内データの編集、データのコピー&ペースト のスキルは身につけていることを前提に進める。</p>		